



がんばれ! 子育て日記



「もう小学生なんだから～」 って言っていませんか？

『もう小学生になるんだから…』と成長を願う親心。

中でも“あいさつ”については「親のしつけがなってない」などと周りに思われたくなくて、つい…『どうしてできないの?』とうるさく言ってしまっていないですか？

でも、子どもからすれば…、**自分から“あいさつ”しなきゃと思っているのに、親から先に『あいさつは!』と言われてしまう…。**

すると、子どもの中には“気が弱くて言えなくなってしまう子”や、逆に“意地を張って言わなくなってしまう子”も出てきます。子どもにも子どもなりの理由があるのです。



その上、小学校入学を経て少し大人びたようにも感じるこの時期は『**中間反抗期 (5～7歳くらい)**』に突入しているため、急に“口が達者^{たつしや}になったり”、“意地を張って親の言うことを聞かなくなる”通称『**へりくつ期**』とも呼ばれています（でも、この時期も大切な“成長段階”なのです）。

こういった成長過程での複雑な時期は、例えば、本当は一人で「着替え」ができるのに手伝ってもらいたがったり、わざとゆっくりやってみたり、『一人で何でもできるように』という親の思いとは反対になることもあり、特に小学校入学後はそういった傾向が多くなるようです。

でも、そんな一見『甘え』に見える行動は、実は子どもからの“サイン”かもしれません。

なので、そういった時は「自分で着替えられるでしょ？」などとは突き放さず、子どもが満足するまで手伝ってあげましょう。



子どもは『学校』という新しい環境の中で「先生に好かれたい」と頑張ったり、「友達の前でカッコ悪いことはできない」と思ったり、それなりに気を使っています。

また、時には“心”に傷^{きず}を負って学校から帰ってくることもあるのです。

大人でも新しい職場に行けば、うまくやれるかどうかと不安を感じますよね？
同じように子どもにとっても“入学”は喜び半分、不安半分なのではないでしょうか。

なので、園児から小学生へと『**かたがき 肩書**』が変わったとしても、中身はそのままの連続した“子ども”と捉え^{とらえ}、せかせないで“待つ”ことも大切なことでしょう。

